広報
さめがわ

平成2年
1月号
No. 433
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



冬の天狗橋は、訪れる人もなく、ひっそりと大石橋が横たわっている。

賀　正

平成2年 元旦

1月1日～12月31日				行政区別交通事故防止コンクール
1	月	6	日	消防団出初式
1	月	15	日	鮫川村成人式(山村開発センター)
1	月	26	日	文化財防火デー

今月の人口
(12月24日現在)

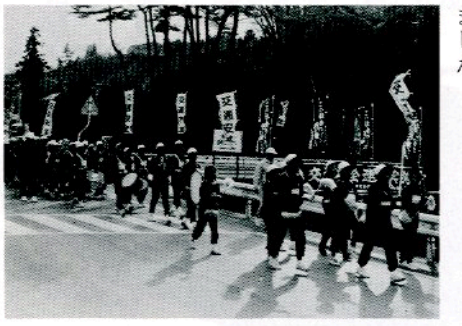
人　口	5,434	(－4)
男	2,685	(－4)
女	2,749	(0)
世帯数	1,136	(－2)

寒風の中　無事故を願って　交通安全パレード

年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中の十二月十八日、寒風の中、鮫小鼓笛隊、村交通対策協議会、交通安全協会鮫川支部役員、行政区長、交通安全母の会、鮫川ライオンズクラブ役員、交通教育専門員、駐在所警察官など約一〇〇人が参加して交通安全パレードが実施されました。

午後一時三〇分、同報無線の放送と花火を合図に広畑地内を出発。沿道では地域の人たちが拍手と声援で出迎えました。

行進は、新宿地内を通って鮫川小学校校庭まで行われ、パレード終了後、鮫小校庭で芳賀交通対策協議会長（村長）と交通安全協会早川鮫川支部長から「皆さんも交通事故にあわないように気をつけてください。」とあいさつがありました。



新年を迎えて



村　長　芳賀　文雄

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、村政各般にわたり温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新しい年を迎えましても、地方財政をとりまく状勢は依然として厳しく、不確実な要素もございますが、これからの村政は高齢化社会の到来と、来るべき二十一世紀に目を向けた村づくりに力を注がなければならないと痛感しております。

そのためには、産業、教育、文化の振興と住民福祉の向上を村政の究極の目標と定め、今年の主要施策の一つとして農村総合整備計画の策定を進め、将来を展望した鮫川村の姿を描き、これを実現するための施策を定めるものであります。

また、渡瀬地区の簡易水道の設置や道路交通網の整備等を重点課題として、村民皆様の英知を結集し、「明るく活力ある村づくり」の実現に最善の努力を尽くして参る所存であります。

また平成元年度の村税につきましては、皆様のご理解とご協力により去る十二月二十六日をもちまして全村完納継続三三年の実績を達成されましたことに、深く感謝と敬意を表します。

おかげさまで財源も確保され、計画された事業も順調に進行しております。

どうぞ、本年も旧年に倍するご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご繁栄を心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

交通安全テント村



このあと、交通安全協会役員と母の会役員などによる〝交通安全テント村〟が鮫川駐在所前で行われ、運転手の皆さんに風船やチラシを配って安全運転を呼びかけました。



鮫川村農協から　カーブミラー寄贈

このたび、鮫川村農協から共済事業の一環としてカーブミラー一基が寄贈され、村道姿平・鹿角平線に設置されました。



もうすぐ一年生

今春四月、小学校に入学される児童は、昭和五十八年四月二日から昭和五十九年四月一日までに生まれたお子さんです。

平成元年十二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の七四名です。名前が違っていたりもれていましたら、一月二十五日までに学校教育課（☎四九－三一五一）に申し出てください。

平成2年度新入学児童

（　）は保護者名

◆青生野小学校　9名

▽白坂和康（伸治）▽中島雅隆（成子）▽八代邦明（亮）▽白石まち子（政敏）▽鈴木晶子（清孝）▽岡部由喜子（明）▽平久江美香（和男）▽菅野智美（甲子夫）▽岡部満枝（一良）

◆渡瀬小学校　11名

▽木之内彰（満男）▽赤坂裕（孝男）▽蛭田誠（和彦）▽木之内公（茂雄）▽國井彰（清敏）▽蛭田智勝（和男）▽藤田純子（高一郎）▽藤田尚子（悦男）▽山形麻衣子（郁夫）▽藤田就子（博）▽芳賀徳恵（精治）

◆富田小学校　1名

▽戸村有紀子（正明）

◆西野小学校　8名

▽藤田重幸（高志）▽須藤静男（美喜男）▽石井仁之（政夫）▽鈴木芳枝（徹男）▽舟木こずえ（久）▽佐藤美保（三郎）▽佐藤奈穂（信夫）▽矢吹優（佳伯）

◆西山小学校　12名

▽阿久津隆（市男）▽生田目貴裕（邦一）▽関根勝美（芳包）▽阿久津正幸（順一）▽関根悟（勝久）▽関根務（正）▽根本勇一（一郎）▽鈴木香緒里（英一）▽関根牧子（善徳）▽関根麗香（正二）▽関根なるみ（貢）▽関根美津子（芳一）

◆鮫川小学校　33名

▽湯座智浩（一男）▽岡部憲勝（憲司）▽小林浩（栄）▽吉田信（光隆）▽芳賀拓己（春男）▽鈴木潤（香）▽湯坐弘（正）▽鈴木浩之（芳保）▽森豪（仁一）▽進士尊主（徹）▽中川西吉栄（吉男）▽遠藤正也（豊）▽五十嵐武（一郎）▽溝井敏幸（繁）▽中川西諒（美好）▽湯座啓（吉男）▽森寿治（義美）▽中川西正光（隆男）▽大池麻祐子（義閔）▽中川西恵子（吉典）▽中川西直子（良男）▽溝井智美（一雄）▽芳賀圭衣子（文男）▽蛭田里美（武彦）▽佐藤理恵（博）▽鈴木沙佳（良一）▽窪木香（一）▽金澤歩（広一）▽鈴木美紀（次男）▽吉田美香（要一郎）▽高木千春（勝寿）▽緑川有希子（好之）▽水野綾子（孝夫）

年頭のごあいさつ

村議会議長　蛭田　一



平成二年の新春を迎え、村議会を代表して謹しんで新年のごあいさつを申し上げます。

年頭にあたり、村民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますと共に、常日頃、私達議会活動に対するご支援ご協力によりまして、村民皆様の声を村政に反映できるように努力しながら円満な議会運営ができ、越年することができましたことに深く感謝申し上げます。

昨年は、年頭に昭和の御代から平成にと年号が改まり、我が鮫川村が誕生してから一世紀百年という記念すべき年でありました。

農家にとっては、二か年続くといわれている冷害も免がれ、農作物の収量もほぼ平年作となり、こんにゃくはまずまず、子牛の市場価格が良かったことなど平常な年であったと考えております。

しかしながら、八月五日からの台風一三号及び一七号による道路や河川の決壊、農作物など甚大な被害を受け、総被害額は五億七、五〇〇万円になっており、この復旧に村当局はもとより議会としても真剣に取り組んでいるところであります。

本年平成二年は、我が鮫川村にとっては二世紀二百年に向っての出発点であり、ふるさと創生事業の実施をはじめとし、更に村民の福祉の増進などなお重要な課題が山積しております。

その解決を図ることは、直接村政に参画するわれわれ議会議員に課せられた責務であり、国及び県の施策と相まって村財政の範囲内において、最大の効果が上がり活力ある明るい村づくりのため努力する覚悟であります。

平成二年こそは、鮫川村の躍進の年として村政全般にわたり内容充実のため最大の努力を傾注する所存でありますので、何とぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げましてごあいさつといたします。

村民皆様から要請の多い生活道路の改良・舗装事業をはじめ、簡易水道の整備等各種の振興計画に基づき、村民皆様のご理解とご協力により各種事業が順調に進展しておりますことは、御同慶にたえないところであります。

われら午年生まれ

今年の抱負

新年明けましておめでとうございます。
新しい年の幕開けです。そこで今年の干支にちなみ〝午年〟生まれの方々に「今年の抱負」を執筆していただきました。
皆さんの今年の抱負はいかがですか。



西山小　我妻　仁子
(昭和53年生まれ)

人生のあしあと



大塩岡部　長治
(大正７年生まれ)

新年おめでとうございます。〝光陰矢の如し〟平成二年の新春を迎え、私も今年の「エト」午年生れで、六回目の年男を迎えました。

振りかえって見ると、私達の年代は言うまでもなく、青春時代は昭和激動期にあって私も戦争中は六年余りの兵隊生活、戦後は国家再建をめざし、無我無中で大地を友として食糧増産等に過ごし、ようやく子供も社会人となり、背伸びが出来るようになったと思えば頭髪は白さをまして感無量です。

八年前に老人クラブに入会先輩の方々の指導を得て、老人のあり方を種々学びとることが出来ました。

これからは、これらを参考として、今後の人生のあり方や地域社会への奉仕、健康増進、教養活動を基本として仲間の和をさらに広げ、大切にしていきたいと考えております。

なお、今年は結婚五十周年を迎え意義ある年なので、過ぎし自分のあしあとを見つめつつ、今までにお世話になった地域社会に対し、老人としてお役に立つことがあれば、感謝をこめていたしたいと思っております。

今後は、一日一日を楽しく過したいと念願いたすのみです。

農産物需給の安定を望む



大石草　鈴木　長一
(昭和５年生まれ)

新年おめでとうございます。今年で六〇年目の年を迎えました。

自分を振り返る時、もう六〇歳かと感受します。想いは戦中・戦後食糧難、物不足の中で成長したことなど想いで深いものがあります。

戦後の復興が目覚ましく、今何不自由ない経済大国長寿国と成長しました。

しかし、現在農業問題は厳しく、畜産物の輸入化、米の市場開放問題等農産物の自由化が問題にされております。

農業問題が政治的、経済的に安定することを望むものであります。

そして二十一世紀に向け、陽光の時代に進展することを期待するものです。

私は、自然の中で農業を営み、土に生きる歓びを感じつつ、事故災害のないことを祈り、良き福祉社会、明るく豊かな住み良い社会に少々なりとも貢献出来れば幸いと思っております。

家庭の主婦として



中山　芳賀喜久江
(昭和29年生まれ)

あけましておめでとうございます。

昭和から平成に変り、私は平成になって初めての年女で三回目を迎えることができました。

昭和から平成は、内外共に国民は、激動の年であったように感じました。

私は、村に生まれ村内に嫁いで、現在二人の母親として家業に励みながら会社に勤めております。

私の家庭では、鮫川村で第一号として、百歳の長命が誕生し、村民の多くの人達から祝福されたことが私にとって最大の誇りとして忘れることの出来ない大切な昭和の時代でありました。

今年もがんばります

今年は午年、私の生まれた年と同じです。

私は今年、小学校を卒業して中学校に入学する年で、新しい学校生活になります。小学校で学んだ事を、中学校にいっても生かし、新しい事も、数多く学んでいきたいと思います。

そのため、健康には十分気をつけ、クラブ活動なども、一生けん命やりたいと思います。

そして、別れる友達もいますが、いつまでも仲良くし、新しい友達も、たくさんできるので、みんなでいっしょにがんばりたいと思います。

また、おじいちゃんもおばあちゃんもいつまでも、元気でいられるようにと、お父さんとお母さんは元気で、働けるように、がんばってほしいと、願っています。そして、私が大きくなった時、一生けん命働くことができる人間になりたいと思います。

また、人のために働くことができるように、今年も勉強に運動に、がんばりたいと思います。そして、何事も最後まで、やりとげるように、がんばります。



(昭和５年生まれ)

前沼　岡部ヨシエ

これからは、一家の主婦として、健康第一、地域住民の協力、村の発展に一つでも貢献し、また、子供の成長して行く姿を見守りながら母としてにとって、最良の年になるよう努力して行きたいと思います。

家庭の基本はすべて社会につながり、明日への活力をもつものとして、平成二年が私

一日一日を大切に

人し、還暦を過ぎ心の余裕が出来て、次々振り返ると永い歳月の様にも思う。

あの波乱の多かった昭和も終り、平成と変り初めての年、私の生れ年、年号も新しく私も還暦を過ぎ新しく精神的にも生れ年として残された人生を生きたいと思います。

そのために生きた証しを短歌に求めて拙ないながら始めてみました。

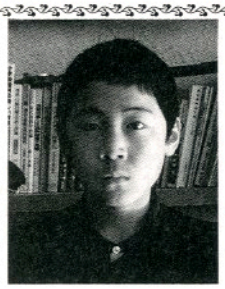
始めてみると、簡単なことではありませんが、その日その日の生き様が真剣に記録されてゆく思いがして、難かしくとも一面楽しい毎日でもあります。

幸い、村には優れた短歌の先輩が何人もおりますので、心強く思われます。

私は平成という言葉のように平和でそして毎日生きる楽しみを無駄なく生かしたいと思います。

また、少しの農業を楽しみその中から生活の歌を先輩に追つく秀歌を作るよう午の歩みの様に努力したいと考えております。





(昭和53年生まれ)

鮫川小　窪木　浩一

ぼくは、今まで仕事を数えきれないほどたくさんたのまれてきました。

ぼくはそのたびに、「なんでぼくが仕事なんかやらなければならないのか」と思っていました。

でも、このごろは、仕事をたのまれるのは、ぼくのことを信用してくれているということがようやく分ってきました。

それからぼくは、仕事をたのまれるたびに、信用されているんだなと思いうれしくなるようになりました。

それに気が付いてからは、ぼくは、やる気が出てきました。

ぼくのしょうらいの夢は、科学研究所につとめ、人の生活を豊かにして、公害にならない機械を作っていくことです。

将来の夢



そして、新しい年をむかえ今までの自分を変えていくようにがんばることにしました。新学期からは、今まで苦手な科目や運動に特に力を入れていきたいと思います。親に心配をかけない、しっかりとした子供になります。



トマトづくりに力を入れたい



青生野　生田目　アキ子

（昭和17年生まれ）

午年の年頭に当り、一言抱負を述べたいと思います。

私は、今年で四八回目の年に当りますが、これまで病気といった病気もせず、仕事に子育てといった具合に毎日毎日年をとるのも忘れ、無我夢中になり働いて参りました。

しかし今までの私の人生は何んだったんだろうと、一瞬考えるようになりました。

まだまだ自分は若いという気持はありますが、子供達を見ると、やはり自分は、もう人生の半分以上まで来たんだ、これからやるといったら自分には何が出来る、こんな事を考えると何んか寂しくなる気がします。

しかし、気分はまだまだ若い二十代のつもりです。

今年は私の年でもあるので農業経営は勿論のこと、特にトマト作りになお一層性を出し、皆に負けないよう、夫の片腕となり、明るい家庭環境を作り、今年一年間、良い年でありますように頑張っていきたいと思います。

何事にも積極的に



岡田　舟木　良一

（昭和29年生まれ）

新年あけましておめでとうございます。

〝光陰矢の如し〟と言われますように、あっという間に今年で三六歳を迎えようとしています。

子供達もそれぞれ元気に学校や保育所へと通っており、親としてうれしく思っている次第です。

子供達を見ていますと、それぞれ個性がありますが、一様に内弁慶です。これは多分に父親である私の性格を受け継いでしまった様に思われます。

今からでは遅いと言われるかもしれませんが、今年からは何事にも積極的に参加、発言し、子供達に見てもらいたいと思います。

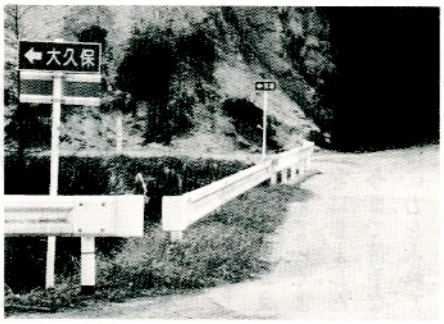
また、広域消防という職場に入り早一八年になろうとしています。

年間多額の損害を出す火災を少しでも減らすことが第一の使命と考え、更に勉学に励み、一消防人として地域の皆さんに役立つよう、努力したいと思います。

村内の道路が　わかりやすくなりました

今まで、村道などの道路標識があまりなかったため、行先（集落名）がよくわからないという声がありましたが、このたび村では、村内六〇か所に道路案内標識を設置しました。

これで、行き先がわかりやすくなったと運転者などから喜ばれています。



読者の声

福島市　堀口　知明

ようやく遅い冬がやってきて、初雪にしては少し積りすぎたようですが、スキー場、民宿では大喜びでしょうし、夏の水涸れの心配もせずにすむかも知れません。

広報十二月号ありがとうございました。文化祭その他のイベントも旺んだったようで、その賑いが聞こえてくるようです。

さいきん私は「子ども時代を失った子どもたち」、「子どもはもういない」などの本を読んで、これからどうなるのだろうか、と思案しているところです。

お礼まで。

移住者を囲み懇談会

満足してます　村の暮らし



十二月二日、村民保養所さぎり荘において、都会から本村に移り住んで来た人たちを囲んで懇談会が開催されました。

懇談会は、村ふる里振興協議会（村・農協・商工会で構成、会長＝芳賀村長）が主催したもので、移住者一八名と、村からは芳賀村長、蛭田村議会議長、須藤農協組合長、早川商工会長、行政区長の方々二一名が出席し、和やかに懇談されました。

懇談は、移住された方々から見た村の感想（村の良さ、村づくりに望むこと）を聞いて、今後の村づくりに役立てて行くことと、一日も早く村の生活に溶け込んでもらおうと開いたものです。



感想の中では「自然環境の豊かさ、村民の人情の細やかさ、義理堅さに教えられることばかり」、「親切に付き合いしてくれる」、「四季の変化、恵みに感謝している」、「この村には人を信じて受け入れてくれる雰囲気がある」、「伸び伸びと子育てをしたいので、東京を脱出した」等とともに、山村留学の高校生から「一年半たってやっとクラスメートとなじめ、村の生活が楽しくなってきた。自分自身を成長させて行きたい」といったことが述べられました。

また要望の中では「これからの村を担って行く子供たちに、郷土に誇りを持ってもらうため、学校教育の中に郷土を教える配慮が大切ではないか」、「正月の門松を生活合理化と称して印刷紙ですませているが、なぜ自分達の文化をなくしてしまうのか残念」、「山林にゴミが放置されており残念」、「もっと自然に付き合ってほしい」等が出されました。

村からの要望としては、三二年間続いている村税完納への協力、道路・河川愛護作業や地域の行事等への積極的な参加を求めました。

竹飛歩学園の開園を機に村に移り住みたいと希望する問合わせは二〇〇件を超え、うち一三世帯（竹飛歩学園含む）七三人が首都圏等から移り住んでいます。

懇談会の最後に、移住者を代表して佐藤幸之助さんが、「愛される村民になるよう努力します」とお礼を述べ、閉会しました。

献血30回　銀色有功章を受章

藤田　洋美さん



このたび、永年にわたり献血事業に協力された鮫川保育所長の藤田洋美さん（大字赤坂東野字広畑）に「銀色有功章」の楯、門標が日本赤十字福島県支部から贈られました。

藤田さんは、これまでに三〇回の献血を行い、献血事業協力者として今回表彰されたものです。

会社創立30周年を記念して30万円寄附

鮫川運送　芳賀　一さん

鮫川運送㈱（代表取締役社長＝芳賀一さん）では、平成元年に会社創立三〇周年を迎えました。

これを記念して芳賀社長は、役場を訪れ「教育の振興に役立ててください。」と三〇万円寄附されました。

村では、さっそく教育振興のために有効に使わせていただく予定です。

鮫川運送㈱は、広畑地内の本社のほか、泉崎村に配送センターと矢吹町に流通センターがあります。



▲ 緑川助役、青戸収入役に寄附金を手渡す芳賀社長

行政区別 交通事故防止コンクール実施

1月1日～12月31日

行政区別交通事故防止コンクールについては、毎年実施しておりますが、平成二年は一月一日から十二月三十一日まで年間を通して実施しますので、交通事故絶滅のためご協力くださるようお願いします。

一、目　的

このコンクールは、交通事故防止の一環として、運転者の安全運転励行と歩行者の交通安全を確保するため、交通事故防止に対する各区民の意識を高め、村民の自覚と実践によって交通事故の絶滅を期することを目的とする。

二、主　催

鮫川村・鮫川村交通対策協議会・交通安全協会鮫川支部

三、期　間

平成二年一月一日から十二月三十一日まで（一年間）

四、コンクール参加団体

各行政区（七区）

五、審査基準

㈠、順位は別表の事故・違反点数表に基づき、各行政区の人口に対する事故・違反点数表に基づき、各行政区の人口に対する事故・違反合計点数の割合をもって決めます。

《算出方法》

$$\frac{\text{事故・違反合計点数}}{\text{人　口}} \times 1{,}000 = \text{評価点数}$$

㈡、事故又は違反行為は、棚倉及び石川警察署管内で発生したものについて採点します。

㈢、各行政区の人口は、一月一日現在の現住人口調査の人口とします。

六、表　彰

各行政区別に評価点数を算出し、その点数の少ない順に三位まで表彰します。

（六月頃、中間発表を行います。）

交通事故・違反点数表

区分		点数
死亡事故		150
重傷事故		100
軽傷事故		50
物損事故		30
酒酔い運転		100
酒気帯び運転		90
無免許運転		80
速度超過	30 km 以上	50
	25km以上30km未満	30
	25 km 未満	20
その他の違反		10～20

※　交通事故（人身、物損）の場合、事故と違反の両方の点数を加算する。

選挙の豆知識

衆議院選挙

衆議院議員は、平成二年七月五日任期満了ですが、昨今新聞等で衆議院の解散の時期、それに伴う総選挙の時期について、種々様々な報道がされています。

そこで衆議院議員の選挙について紹介します。

一、定数

衆議院議員の定数は、五一二人となっています。

現在、定数是正について第八次選挙制度審議会において定数配分の不均衡の是正、総定数の見直し等の検討がされているところですが、今度の選挙は、現行のまま行われる見込みです。

福島県においては、一区四人、二区五人、三区三人の定数となっています。

二、選挙の期日

衆議院議員選挙の期日は、任期満了の場合は、任期満了の日から三〇日前に、解散の場合は、解散の日から四〇日以内に行うことになっています。

マスコミによれば一月解散・二月選挙説等々の報道がされておりますが、どちらにしても、任期満了の選挙になる可能性は低いという状況です。

ちなみに、戦後、一七回の選挙が行われましたが、任期満了による選挙は、昭和五十一年の一回のみでした。

また、選挙の日の一五日前に告示されますので、選挙運動のできる期間は、一五日間となります。

三、選挙運動

衆議院議員選挙においてできる選挙運動は

◇文書図画の頒布〈公営〉

通常はがき、三五、〇〇〇枚ビラ、一〇〇、〇〇〇枚、（選挙区内の議員定数×二〇、〇〇〇枚）新聞広告五回、選挙公報

◇文書図画の掲示

◇言論によるもの

個人演説会や街頭演説などがある他、テレビ、ラジオによる政見経歴放送が行われます。

四、選挙の費用

福島県でかかる衆議院議員選挙の費用は、約七億円で、有権者一人あたりにすれば、約五〇〇円かかることになります。

今年は、〝選挙制度一〇〇周年〟です。これからも一票、一票を大切にしましょう。



国民年金

こんなときにも手続きが必要です

結婚、又は就職・退職など人生の節目ごとに国民年金の手続きが必要です。

また、国民健康保険に関する手続きを行ったときは、国民年金に関する届け出も必要となります。

国民年金の加入者の種類が、第一号被保険者（農林業や自営業などの人とその配偶者）又は第三号被保険者（厚生年金や共済組合に加入している人に扶養されている配偶者）に該当する方は特にご注意ください。

結婚したとき

結婚してサラリーマンの奥さん（被扶養者）になったときには、国民年金の第三号被保険者となるための届出が必要です。



就職・退職したとき

奥さんが、就職又は退職したときは、国民年金の加入者の種類が変わりますので届け出が必要です。

また、ご主人が就職又は退職したときにも、奥さんの加入者の種類が変わる場合がありますので注意してください。

なお、国民年金について詳しいことは、役場住民課福祉係におたずねください。



お知らせ

平成元年分所得税の納税相談方法が変わります

平成元年分の所得税の申告が、平成二年二月十六日から始まります。

事業等を営なんでいる方で、所得税を納めていただく方については、従来、税務署職員の出張納税相談サービスを行い、村でも期日を定めて山村開発センターで相談と申告受付を行っていました。

平成元年分の所得申告からこの相談方式が変わり、事業等を営み所得税を納める方については、平成二年二月十六日から三月十五日までの間、白河税務署で納税相談と申告受付を行うことになりました。

該当する方については、白河税務署から本人に直接通知がありますので、白河税務署へ納税相談に行っていただくことになります。

なお、税務署に所得税の相談に行かれた方は、消費税の申告も相談を受けることができます。

詳しいことは、白河税務署におたずねください。

・住所　白河市中田五－一
・電話番号　〇二四八－二二－七一一一

鮫川村の面積

131.99㎢になりました

全国の都道府県・市町村の面積については、従来、国土地理院が五万分の一の地形図を基準として値を作成・公表していましたが、近年二万五千分の一地形図の全国整備が完了したことに伴い、新しい測定による面積が公表されました。

これによると、鮫川村の面積は従来、一三一・二〇㎢でしたが、このたびの面積測定により一三一・九九㎢となり〇・七九㎢増えました。

村税完納達成継続完納に感謝

平成元年度普通徴収分の村税は、去る十二月二十六日に全村完納となりました。

昨年十二月一日から村税完納運動を実施してきましたが、納税者の皆様をはじめ、区長さん、区長代理さん、組長さん方のご熱心なご協力のもとに本運動が推進され、全村完納となりました。

これで本村は、継続完納三年という全国に誇れる偉業を達成したことになり、あらためて皆様の納税に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

お元気ですか

保健婦です

今年も健康で お・め・で・と・う

新年を迎え、またひとつ年が増えました。

体の方も少しずつ老化が進んで行きますが、今年も健康ではつらつと生活ができるようご努力しましょう。

お正月といえば、飲み過ぎ食べすぎが心配です。特に、おじいちゃん、お父さんは気をつけてほしいものです。

あなたはいかがですか？

健康カルタ

み

みずおち痛
調べてみれば
潰瘍なり



空腹時にみずおちのあたりが痛むことが多い胃・十二指腸潰瘍の症状。心配なときは早めに診察を受けよう。

の

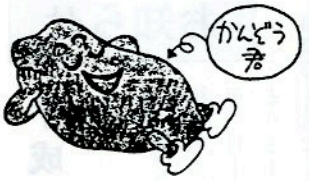
飲みすぎはなお
及ばざるが
ごとし



お酒はほどほどが肝心。自分の適量を知り、度を超さない。安全な量は、日本酒の場合1日1合まで。

ぎ

〝休肝日〟あれば
憂えなし



連日の飲酒は肝臓への大変な負担に。週2日は〝休肝日〟にし、お酒をやめて肝臓にいたわりを。

す

スポーツの
したい時分に
体力なし



20代、30代から運動習慣を身につけ、年齢に合った体力を保てば、スポーツも十分に楽しめる。

い

いつまでも
あると思うな
じょうぶなからだ



若いにまかせての不摂生は、中年以降、成人病を招きかねない。20代、30代から健康管理をしっかりと。

わ

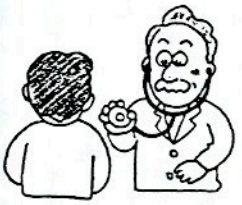
笑う門には
健康来る



クヨクヨ考えすぎていては、ストレスがたまるばかり。心から楽しめる趣味などで早めにストレス解消を。

こ

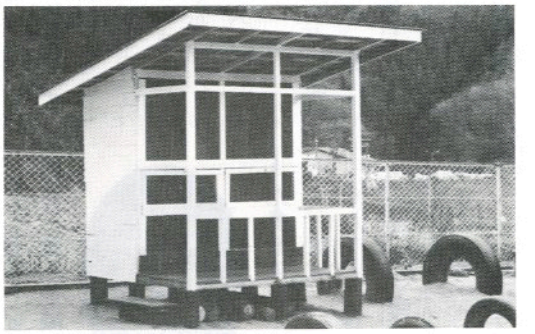
転ばぬ先の
定期健診



病気の早期発見・治療には欠かせない定期健診。健康の自己管理のためにも、必ず受診しよう。

鮫川幼稚園

保護者役員奉仕作業で立派な飼育小屋完成



鮫川幼稚園の保護者会（金沢広一会長）役員さんの奉仕作業により、立派な飼育小屋が完成しました。

早朝から夕方おそくまで、作業奉仕まことにありがとうございました。

これから、うさぎ、モルモットの飼育に役立てたいと思います。

中沢公民館落成



富田・中沢地区には、昭和35年に建築した部落公民館がありましたが、老朽化したため取り壊され、このたび新しい公民館が建築されました。

木造平家建で、会議室、和室、台所、便所などがあり、74.25㎡の広さです。

文芸



俳句

鬼越　円谷　菊重

脱穀の終った田圃子等はしゃぐ

反田　小山田清哲

農協祭杵音高く空にとぶ

鮫川高校　沢　草二

秋祭村に偉業のありしごとし

宿ノ入　田中　義明

過疎の村紅葉一気に活気づく

新宿　斎須　信子

コンニャク干す庭の広がり冬立てり

道少田　山本五十鈴

稲架解けて峡の風道よみがえる

道少田　山本朗史

冬耕というべき煙三筋立て

反田　松本マツヨ

亡き兄よ安らけくあれ菊の花

二反田　鷲野谷スイ

内職のケバ取り鋏冷えている

反田　松本　テツ

庭の先ツツジ一輪返り咲き

彦次郎　青戸　テル

峡の畑雪降り虫や頬をうつ

二反田　大平　太平

初霜の降りたる化粧五葉松

二反田　鷲野谷　満

落葉焚きまわりに赤き児等の頬

短歌

岨　長北條　平

一枚をめくれば暦もお別れか

事なく過ぎし今年思えり

酒垂　石井　カヤ

犬吠の宿に朝日の出を拝む直線に金色海輝やかす

前沼　岡部よしえ

庭すみの万年青の株の赤い実に初雪冠り一きわ冴ゆる

棚橋　関根　一好

大正と昭和も生きて初年賀

平成の二字心して書く

名下　須藤美代子

冬空をつんざく如き飛行音ブライダルベールの葉が震いいる

広畑　岡部ヒサ子

診療所の待合室に貼ってある村民憲章を読みつつ順番を待つ

新宿　長田　正男

ガチガチとスパイクタイヤの音すれど舞い散る雪はいつ来るのやら

大石草　鈴木イミ子

銃声の消えたるあとの峰を越ゆ雉らの無事を祈りているもむ

本坂　藤田　初枝

カレンダー差し出すセールスの明るくて又一品を買わされており

越虫星　武

苦労せしあとありありと作品に金銀銅の賞紙が貼らる

本坂　円谷　好男

きびしくも励ましくれる先生の便りが今日も病室に届く

青生野　吉成　タカ

水しぶきあげて注げるそうめんの滝はさながら水晶の華

関口　藤田　マサ

星の世界にいるが如しも娘の家の庭より宇治市の夜景を眺む

農業委員選挙人名簿
登載申請を忘れずに！

農業委員会では、「農業委員会等に関する法律」に基づいて、毎年一月一日現在で農業委員会委員の選挙人名簿を作成し、この名簿を審査して村の選挙管理委員会に提出することになっています。

この申請書を基に、「農業委員会委員選挙人名簿」が作成されます。」

選挙資格のある方々は、もれなく名簿登載申請書に記入し、申請書を一月十日までに組長さんを通じ農業委員会に提出してください。

〔選挙資格〕

㈠　鮫川村に住所を有し、一月一日現在正常な手続により居住し、昭和四十五年四月一日以前に生まれた満二〇歳以上の者。

㈡　一〇アール以上の農地につき、耕作の業務を営む者。

㈢　農地面積の認定については、土地台帳に登録された面積である。土地台帳に登録されていない農地については、農業委員会が定めた面積とする。

㈣　以上の者の同居親族又はその配偶者で、㈠、㈡に該当する者。

年頭のごあいさつ



農業委員会
会長　国井　嘉康

あけまして、おめでとうございます。

平成二年の新春を迎え、皆々様のご多幸とますますのご繁栄を心からお祈り申し上げます。

さて、振り返ってみますと、昭和天皇の崩御により六十余年の昭和の年号にお別れし、迎えた平成の年号もまだなじめないままに、平成二年の新春を迎えました。まさに光陰は矢の如しであります。

平成元年は内外共に激動の年でありました。先ずは消費税による全国民の怒りと不満、農家にあっては生産資材農機具等すべてに出費がかさみ、本当に苦しい年でありましたが、農家の皆さんの根強い根情により水田転作による減反の実績も村全体では一一二%の達成となりました。深く感謝申し上げます。

また台風一三号、一七号により農作物も地域的に被害を受けた農家の皆さんにお見舞申し上げます。

それでも、村全体的に見ると、昨年は農作物のすべてが平年並みとなりましたことは嬉しいかぎりであります。

しかしながら、今日の農業農村をめぐる情勢は史上かつてない大きな転換期にあることは、申し上げるまでもなく国際化が進む中で農産物輸入自由化拡大による農畜産物価格の引き下げ、そのうえ担い手の減少、高齢化の進む中で我々農業委員としても農地の番人は去ることながら、現状に添って取り組むべき課題として自立農家の確立のために担い手の育成と後継者の確保のためにも、年々深刻化する農村花嫁花婿問題に取り組み一日も早く経営を移譲し、経営者の若返りを促進する責務があると考える者であります。

それには、先ず親の意識改革も必要でありますが、地域ぐるみで対応することが大切でありますので先輩各位のご協力をお願い申し上げます。

そして、次代を担う後継者に一日も早く、希望と確信をもって明日の営農に家族揃って笑顔で邁進されることを約束したいものであります。

私たち委員も与えられた責務を勢一杯頑張る所存でありますので、変らぬご支援と、ご指導を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

全国農業委員会
会長大会に参加

去る十二月四日・五日の二日間東京・日比谷公会堂において、全国農業委員会会長大会が開催され、村農業委員会から木之内職務代理が出席しました。

主な内容は、農業・農村は今、コメの市場開放要求、洪水のように押し寄せる輸入農畜産物、農畜産物価格の低迷人口の高齢化と過疎の進行、若い農業の担い手が極端に不足しているなど、多くの困難に直面している。こうした困難を克服するため、農業の体質の強化や、農村への若齢人口の定住化を目指し、農業関係者は現在、最大限の努力を続けており、この努力が実を結ぶため、なによりも国民全体の農業・農村についての理解と協力が必要である。その主催者代表のあいさつがあり出席者全員で大会宣言文を決議し、政府並びに国会に対して、強く要望することを確認し大会を終了しました。

公民館だより

第2回綱引競技大会
富田　優勝独占ならず

鮫川村体育協会主催の第二回綱引競技大会は、十二月十日に農業者トレーニングセンターで開催されました。

本年度は、男子九チーム、女子七チームの計一六チーム約一六〇人の参加となり、昨年度の出場チーム数にはいたらなかったものの、男子は予選決勝共ブロックリーグ戦、女子は予選がブロックリーグ戦（一部変則）決勝がトーナメント戦で熱戦が繰りひろげられました。

綱引きの技術に関しては、二回目とあって全般的に昨年度をはるかに上まわる技術の向上が見られ、白熱した闘いとなりました。

なお、綱引競技については東白川郡内でも盛んになりつつあり、各町村共大会が開かれるようになってきたため、来年度は郡の大会も検討されてます。

大会の結果は、次のとおりです。

◆男子

優勝＝中野ビッグストーン
準優勝＝富田A▽三位＝東石A

◆女子

優勝＝富田A▽準優勝＝富田B▽三位＝西山



▶男子優勝ビックストーンチームの引きっぷり



▶婦人パワーで綱も切れそう

ふるさと文化教室
ふれあい

意外にむずかしかった
箒（ほうき）づくり

ふるさと文化ふれあい教室第七回目の講座「竹箒（ほうき）づくり」は、十二月三日山村開発センターで八人の児童が参加し、六人の老人クラブのおじいちゃんの協力により実施されました。

阿久津光翁さんから製作手順とポイントの説明があり、さっそく制作にかかりました。

箒（ほうき）の柄を切り中にかくれる部分の取り付けまでは順調に進みましたが、一番外側の穂を付ける段になるとなかなかうまくいかず、どうしてもおじいちゃんの助けをかりざるを得ない状態となりました。悪戦苦闘の末どうにか一本の箒（ほうき）を完成させ、参加した児童は意気揚々と箒（ほうき）をかついで帰りました。

一見簡単なような箒（ほうき）づくりに意外なむずかしさを発見しあらためて物をつくる難かしさを知ったようでした。



▶説明を聞く子どもたち

親子そろって
映画鑑賞
はだしのゲン・2

十二月九日、午後七時山村開発センターで親子映画会が開催され、約五〇〇人の親子が鑑賞しました。

この映画会は、劇場映画を見る機会の少ない本村の親子がそろって劇場映画の雰囲気を味わい、さらにその内容を親子が話し合うことにより親子のふれあいを深めることを目的に実施されたものです。

上映されたのは「はだしのゲン・2」という一六ミリアニメ映画で、昨年度上映した「はだしのゲン」の続編で、原爆投下から三年後の広島を舞台に、原爆孤児の力強く生きていく姿をとおして、豊かな人間愛、たくましく生き抜く心、そして平和の大切さを描いた映画でした。

鑑賞の日はスクリーンに釘付けとなり、二度とあの惨事を繰り返してはならないという気持がありありとうかがえる映画会でした。

1月10日は〝110番の日〟

一月十日は、「一一〇番の日」です。

皆さんから通報される「一一〇番」は、棚倉警察署で受信する仕組みになっています。

事件、事故などが発生した場合、通報が早ければ早いほど、犯人検挙の確立が高くなります。

また「一一〇番」をかけるときは、警察が迅速に行動を開始できるよう落ちついて、はっきり話してください。

◎一一〇番のかけ方（一般電話）

◇何があったか
交通事故、泥棒、けんかなど

◇いつ、どこで
発生時間、場所（近くの目標物）など

◇事件、事故の内容は
道路に人が倒れている、ケガ人が〇人いるなど

◇犯人は
人相、特徴、車のナンバー、逃げた方向など

◎正しい利用を

「一一〇番」は、緊急通報用の電話ですので、緊急の用件でない問い合わせや相談は、加入電話でお願いします。

また、〝いたずら〟や〝まちがい〟の「一一〇番」が年ごとに増えています。

これらは、緊急を要する通話の妨げとなりますので、ご注意ください。

おくやみ

十二月

	歳	世帯主
大澤	関根タネ	79 関根芳包
前田	金澤甲子雄	80 金澤正男
新宿	鈴木英男	88 鈴木一良

今月の納付

国民年金保険料　1月分

納期限　1月25日

文化財防火デー

1月26日

文化財を火災から守ろう

心配ごと政相談

1月22日（月）

午前10時～午後2時

山村開発センター

休日の在宅当番医

（1・2月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
1月1日(月)	藤田	車田	原・鹿岡
2日(火)	勝田	根本	大野（診）
3日(水)	菅原	厚生病院	中島・添田
7日(日)	薄葉	—	大野病・円谷
14日(日)	大木	石川	石川中央・大竹眼
15日(月)	東白川中央	—	務川
21日(日)	阿部	—	田中吹
28日(日)	勝田	島	矢三瓶
2月4日(日)	菅原	車田	原
11日(日)	薄葉	根本	大野診・山本
12日(月)	大木	厚生病院	中島・矢内
18日(日)	東白川中央	—	大野病・大野眼
25日(日)	阿部	石川	

ゴミの収集日

収集コース	種別	1月	2月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鞠木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	4.8.11.18.22 25.29	1.5.8.15.19. 22.26
	不燃物	5.19	2.16
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	4.8.11.18.22 25.29	1.5.8.15.19 22.26
	不燃物	5.19	2.16
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	18	1.15
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	26	23
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨～草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	17.31	14.28
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	10.17.24.31	7.14.21.28
	不燃物	5.19	2.16

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○前田　金澤　正男様
亡父（甲子雄様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○第四二回鮫川村文化祭婦人会バザー収益金
鮫川村婦人会（会長　宗田セキ様）より
二五、〇九二円

○新宿　鈴木　一良様
亡父（英男様）の遺志により　一〇〇、〇〇〇円

○浅屋敷　鈴木　幸榮様
つり銭貯蓄（五円玉、一、一八四枚、五〇円玉、二枚）
六、〇二〇円

○田中　市川　平様
一円玉を長年にわたり貯えておりましたが、このたび社会福祉事業に役立ててくださいと、二、五五六枚（円）寄附されました。



▲5円玉で184cmもありました